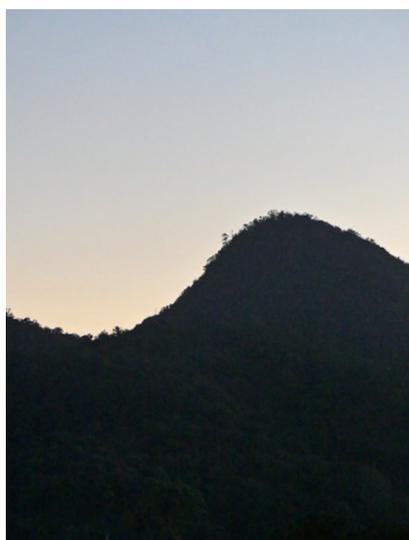
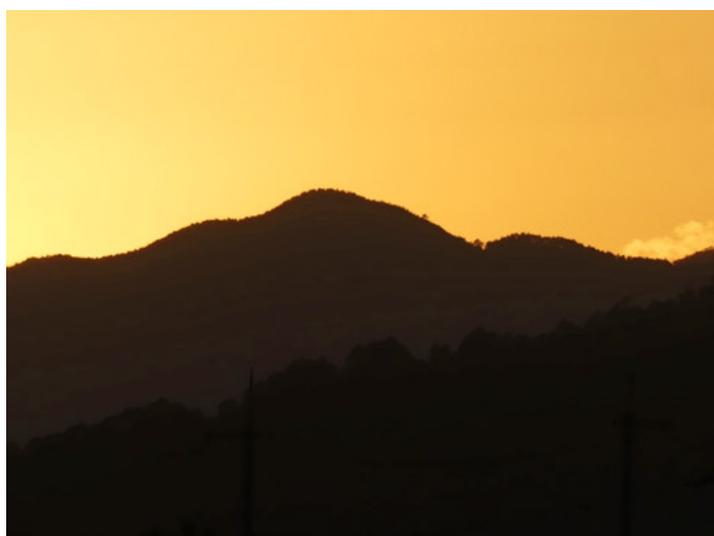


迎古夢旅 4751 : ピワイチ・琵琶湖一周・最終章 136

単調な道が続く。馴染みの光景、琵琶湖大橋は、まだなのか。
夕焼けが味方してくれた。日が暮れるスピードは早い。落日を楽しんだ。

相棒は、電動式ではない。**人力自転車・ママチャリ**。

自分の足で、こがないと、前に進まない。動き続けることで、前進。



やがて、道路標識。季節は、夏ではない。日暮れが早い。

近江大橋経由でなく、下記、琵琶湖大橋から堅田へ、京都までは、まだまだ、距離がある。

車なら簡単なのだが、今回は、ママチャリ。腹ごしらえで、堅田で休憩。

百里の道も、九十九里は道半ば^{なか}なり、という言葉もある。ここからは**最大限の注意**。



坂本から日吉神社経由、三井寺から、逢坂山、無事、京都紫野に帰宅。

その翌日も、次の日も、京都は好天気。クールダウン運動、問題なく、ママチャリ散策。

今回の**ビワイチのおかげ**で、今後の心身の状態が、少なからず把握できた。

知らないことを知り、見聞も広がり、世相の気づきもあった。

急がず、マイペースでやれば、まだまだ、夢挑戦は、出来るのではとの感触も得た。

若い人と同じようには行かないが、**身の程の気づき**があったので、大成功。

明日から、11月。今年の年末は、諸般の事情で、厳しそう。

寒さも厳しいらしい。私の場合、まず、**心身健康が最優先**。**日々の動きが大切**。

出来ることしか、出来ないが、頑張りたい。